

10月1日
午前10:00～午後4:00

京都市勤業館
みやこめっせ1階[第2展示場]

京都・健康と福祉のひろば

あらためて考えよう

国民皆保険制度

～失うとこんなに変わる私たちの未来～

報告



みやこめっせでイベントがありました。

アンパンマンショーもあり、去年より幅広い世代の方々が来訪されていました。

そんな中、脳年齢・血管年齢測定など、23 団体が各ブースで健康をテーマに活動を知ってもらう良い機会になりました。

私達のブースでは、健康相談コーナーとして血圧測定を行い、その際、様々な年代の方のご相談をお受けしました。

日頃の内服や受診に関わる疑問や日常生活のアドバイスから、訪問看護を受けたいと思うけど、どこにどうやって手続きをしたら良いのかと言った相談も寄せられ、介護保険の申請方法を説明し、実際地域包括センターに繋いだケースもありました。

後日、ステーション協議会への電話での問い合わせも有り、多職種連携や知名度が徐々に上がってきていると実感しています。

また、今年から幟を作成した事も協議会のアピールに繋がったと思います。(実際幟を見て足を運んでくださった方もおられました)

今後も地域ケア活動を通じて会員が宣伝材料として使って頂ける物を広報委員会として作り上げて行けるよう頑張っていきます。

イベントコーナー

11:00～14:00～

それいけ!アンパンマン ショー
「キリリッと参上!かつぶしまん」



12:30▶13:50 シンポジウム「国民皆保険制度について」

日本は国民皆保険制度により誰もが安心して医療を受けることができ、世界最高レベルの平均寿命となっています。私たちはこの制度を空気のように当たり前と感じていますがもし失うとどうなるのか考えたことはありますか。未来に引き継ぐために一緒に考えましょう。

シンポジスト

濱島 高志氏(京都府医師会副会長)
齋藤 嘉夫氏(がん患者サロンうずらの会世話人)
新保 博氏(認知症の人と家族の会京都府支部副代表)

司会

米林 功二氏(京都府医師会理事)



ブースエリア

相談
コーナー



相談内容

健康
血圧・肩こり・頭痛
服薬
子育て
介護保険
医療保険
訪問看護

血圧測定者 152 名

10代	2名
20代	20名
30代	26名
40代	14名
50代	21名
60代	36名
70代	26名
80代	7名

体験
コーナー

子どもメダル作成 240 名
風船プレゼント 250 個



<協力員 10 名>

ブースにステーション協議会ノボリを立てました。各地域交流の場でも広報活動の一環として是非ご活用ください。